

令和6年第1回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

令和6年2月26日（月）～27日（火）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
2月26日	たからづか真政会	大川 裕之 議員	120 分	9:30～11:30
	公明党議員団	三宅 浩二 議員	120 分	12:30～14:30
	日本維新の会 宝塚市議団	池田 光隆 議員	100 分	14:45～16:25
2月27日	市民ネット宝塚	寺本 早苗 議員	120 分	9:30～11:30
	ともに生きる 市民の会	大島 淡紅子 議員	120 分	12:30～14:30
	日本共産党 宝塚市会議員団	田中 こう 議員	120 分	14:45～16:45

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	1 将来を見据えた課題への対応 (1) 「宝塚市は新たな舞台に歩みを進めようとしています」とあるが、この真意は (2) 複雑で将来予測が困難な時代において、どのようなリスクを想定し、的確に対応するための体制をどのようなものだと考えているのか (3) 予算編成段階において、財政調整基金残高が標準財政規模の10%を下回ったが、回復までの手法や期間をどのように見込んでいるのか 2 基本方針について (1) 基本方針の(1)に「子どもたちの笑顔があふれるまち」を持ってきたのは、市長の子育て施策にかける決意と受け取ってよいのか (2) 「こどもまんなか」と「子育て世代に選ばれる」のどちらの優先度が高いのか。またそれぞれの視点で政策を立案する際、何に留意しているのか (3) 持続可能な地域医療提供体制の確保とは、具体的に何を指すのか (4) 市制70周年事業の成果を、今後のまちづくりにどう生かしていくのか 3 主要な施策について (1) 都市経営 ア 3つの基盤強化に注力した結果、どのような成果が得られたのか イ 具体的にどのような組織の在り方を目指しているのか。今回の組織体制の見直しの狙いは ウ データを活用し、政策立案する力を組織として身につけるための戦略は エ さらに公共施設マネジメントを進めるために、組織として欠けている要素は何か オ 市民活動団体への補助が「バラマキ」と批判を受ける可能性があるが、本事業の成果をどのように設定しているのか (2) 安全・都市基盤 ア 災害の発生から復興までの各ステージにおいて、どのような課題があって、どう対応するかが整理され、共有されているのか イ 公共交通について、どのような実証実験を想定しているのか (3) 健康・福祉 ア 市立病院について、健全経営に向けた取組を着実にを行うために、モニタリングや改善は具体的にどのような仕組みで行われるのか。また経営強化への取組を病院職員全体で共有し、実行するための仕組みはどのようなものか (4) 子ども・教育

	ア 保育士の就労支援金について、使い勝手が悪いとの意見が現場から出ているが、どのように対応するのか (5) 環境 ア 省エネルギー設備等への助成について、成果を図るために継続的なデータ収集を行わないのか イ 合併処理浄化槽の50人槽までの拡充によって、どの程度の出店が可能になるのか (6) 観光・産業・文化 ア 一過性のイベントにあふれた施政方針となっているが、これらは全て「多くのお金が一晩で飛んでいく」花火大会よりも経済効果を得られると見込んでいるのか イ キャッシュレス決済に関して、経済効果等、次の政策立案につながるデータの収集・分析を行うのか ウ 花のみち周辺エリアにおける、「新たな人流」とは何を指すのか エ 宝塚市国際観光協会は、インバウンド集客の一環として「手塚治虫記念館への集中的な誘客」を検討しているが、市としてどのように取り組んでいくか オ 宝塚市国際観光協会は、宝塚市内での滞在時間の拡大とそれに伴う消費額の拡大を基本戦略の一つとして掲げているが、市としてどのように取り組んでいくか (たからづか真政会 大川 裕之 議員)
2	1 市政運営の基本方針 (1) 子どもたちの笑顔があふれるまち (1) 乳幼児等医療費助成の拡充について ア 恒久的な財源確保はできたのか (2) 子どもと子育て世帯にやさしいまち、子育て世代に選ばれるまちの実現 ア 具体的なイメージと実現に必要な取組 2 (2) 誰もがいつまでも住み続けたいまち (1) 包括的な相談支援体制とは (2) 困難な問題を抱える女性のための新たな相談窓口とは 3 (3) 様々な人が手を取り合う、魅力溢れるまち (1) 本市の目指すまちづくりにおける課題と今後の取組 4 令和6年度予算に関する主要な施策 (1) 都市経営

- (1) ノーコードツールの活用について
 - ア 成果物の管理体制はどうするのか
- (2) 令和7年度末までに標準仕様に準拠について
 - ア あと2年間にすべきことは明確になっているのか
- (3) 市民との協働について
 - ア 新たな人材の確保をどう進めるのか

5 (2) 安全・都市基盤

- (1) 防災について
 - ア 他の自治体や民間企業・団体との協定締結の現状
 - イ 災害に備えて必要な資機材の整備をどう進めるのか
 - ウ 防災井戸や備蓄倉庫の更新計画はあるのか
- (2) 急傾斜地対策について
 - ア 市と民間が所有する混在斜面地において市所有部分だけの対応でよいのか
- (3) 公共交通について
 - ア 市立病院などへの移動手段の確保の進捗状況は
 - イ 売布山手地域でA I オンデマンド交通の実証実験を行うことについて

6 (3) 健康・福祉

- (1) 専門職不足について
 - ア 高齢者の地域包括支援センターだけではなく、障碍（がい）者相談支援においても専門職が不足しているが市の対応は
- (2) 骨髄・末梢血幹細胞を提供したドナーに対する補助制度新設
 - ア 宝塚市のドナー登録の現状は

7 (4) 子ども・教育

- (1) 待機児童対策
 - ア 子育て世代に選ばれるまちの実現には利用者目線による見直しが不可欠ではないか
 - イ 総合教育会議で待機児童の解消等に向けた学校施設の活用等について協議すべき
- (2) いじめ、不登校対策
 - ア 後手ではなく先手の防止策は策定されているか
- (3) G I G Aスクール構想
 - ア 各学校で到達目標は明確になっているか

3	1 市政運営の基本方針について (1) 2021年に策定した行財政経営方針について ア 本年度までの3か年の成果と課題について イ 事業検証の成果（何をもって成果と判断するのか）と今後の運営方針について 2 都市経営について (1) 組織体制について ア 室制度の見直しについての方向性と役職の権限に関するガイドラインについて (2) 公共施設マネジメントについて ア 建物施設の総量削減目標の見直しの方針について (3) JR武田尾駅について ア 駅舎の概略計画と駅周辺地区のバリアフリー基本構想の策定の進捗状況について イ 国の鉄道駅総合改善事業であるバリアフリー化でのJR西日本や県、市の連携状況は (4) 公共交通について ア 市立病院などへの移動手段の確保、バス路線の改編や減便への対応策について 3 子ども・教育について (1) 保育士就職支援事業について ア 支援事業の概要について (2) 中学校の部活動について ア 部活動地域移行検討協議会の進捗状況、指導者の確保など宝塚市の取組と今後の方向性について イ 阪神間を含む近隣他市における部活動地域移行の進捗状況との比較、検証について (3) GIGAスクール構想について ア 各校における現状の進捗状況について イ 市独自のICT支援員の具体的な支援内容について 4 環境について (1) 北部地域の振興に資する施設の新設について
---	---

	ア 合併処理浄化槽の新設設置に関する補助金の交付対象拡充におけるスケールメリットは 5 観光・産業・文化について (1) 大阪・関西万博の開催や神戸空港の国際化に向けたインバウンド対策、市観光協会と連携するPR事業の展開について ア PR事業の具体的なロードマップについて (2) 宝塚ハーフマラソン大会について ア 20回目の節目となる宝塚ハーフマラソンの運営について 6 予算規模について (1) 財政規律に基づく健全で持続可能な今後の財政運営について ア 健全な財政運営に取り組み、成果重視の行財政経営へ転換するための課題とポイントについて イ 機能的で連携の取れた業務体制を構築するロードマップについて (日本維新の会宝塚市議団 池田 光隆 議員)
4	1 市政運営の基本方針について (1) 子どもたちの笑顔があふれるまち ア 「子育て世代に選ばれるまちの実現」に向けて、本市が積み上げてきた取組の評価と課題は イ 「こどもまんなか応援サポーター」宣言をした山崎市政の目玉施策は何か ウ 第2次宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プランの達成状況について (2) 誰もがいつまでも住み続けたいまち ア 包括的な相談支援体制づくりについて イ 人生100年時代における「高齢者の健康づくり、役割やいきがいを見出せる活動の場づくり」は進んだか (3) 様々な人が手を取り合う、魅力溢れるまち ア 市制70周年事業の基本方針について (4) 新しい共創の取組について 2 都市経営について (1) 公共施設等総合管理計画の改定について ア 建物施設の総量削減目標の見直しについて

(2) 市制 70 周年記念市民活動支援補助金について

ア 1 年限り・70 組・「10 万円お渡しします」という事業で何をめざすのか

イ 補助金交付の審査基準「お祝いするもの」で十分か。PR の表現は適切か

(3) 困難を抱える女性の現状と支援について

3 安全・都市基盤について

(1) 災害発生時における職員の対応力向上と地域の防災力向上について

ア 他の自治体・民間企業・団体との協定締結と連携について

イ 住民一人ひとりの防災意識の向上に向けて

ウ 阪神・淡路大震災 30 年に向けた取組は

(2) 機動救急隊発隊による救急救命体制の強化について

(3) 北部振興について、移住の受け皿づくりを通じた取組について

(4) 市立病院への移動手段及び A I オンデマンド交通の実証実験について

4 健康・福祉について

(1) 地域包括支援センターの機能強化について

(2) 骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業における「ドナーに対する補助制度」について

(3) 市立病院の持続可能な地域医療提供体制の確保に向けた経営強化プランの概要と新病院の整備に向けた取組について

5 子ども・教育について

(1) こどもまんなか社会の実現に向け、市民、事業者、団体と連携した取組を集中的に実施するとは

(2) 保育所と地域児童育成会の待機児童対策について

ア 保育所における待機状況と私立保育所の誘致について

イ 地域児童育成会における待機状況と対策

(3) 保育士就職支援事業について

(4) 物価高騰下で質の高い学校給食を維持するために、現場が献立作成に苦慮していると聞いている。国の交付金で食材費の一部が賄われているが、献立価格をどう考えるのか

(5) スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門職の活用、人材確保と資質向上の必要性について

6 環境について

(1) 宝塚市パークマネジメント計画について

	7 観光・産業・文化について (1) 湯のまち宝塚とウィルキンソンタンサン発祥の地を発信し、継承する取組について (2) 市制70周年を機に本市の文化芸術を市内外にアピールすることについて (3) 手塚治虫記念館開館30周年記念事業について (市民ネット宝塚 寺本 早苗 議員)
5	1 市政運営の基本方針 (1) 子どもたちの笑顔があふれるまち ア 「学校の環境整備」における教職員の勤怠管理システム導入の目的とスクール・サポート・スタッフの成果と今後 (2) 誰もがいつまでも住み続けたいまち ア 宝塚市立病院における「他の医療機関との機能分化や連携強化」とは イ 包括的相談支援体制づくり ウ 困難な問題を抱える女性のための相談窓口設置とは (3) 様々な人が手を取り合う、魅力溢れるまち ア 新しい共創の取組～包括連携協定による取組や公共空間での社会実験とは 2 主要施策 (1) 都市経営について ア 組織体制…公共交通施策の推進、環境施策の一体的実施に取り組み、各施設の情報一元化や総合的かつ戦略的施設保全、公共施設の複合化・統廃合・再編等を進めるための体制強化とは イ 広報活動…SNS発信の体制は ウ 公共施設マネジメント…建物施設の総量削減目標の見直しなどの調査とは エ 市民との協働…新たな人材確保策とは オ 人権…性的マイノリティへの理解促進策は カ 平和…平和特別講演会と日本非核宣言自治体協議会設立40周年との関連は (2) 安全・都市基盤について ア 災害対策…資機材整備、防災井戸・備蓄倉庫更新の内容は。市内事業者等との地域防災力向上の取組とは。また、防災的視点から公園をどう位置づけるか イ 消防…機動救急隊発隊は可能か ウ 北部振興…地域情報発信、移住希望者と地域住民とのマッチング、関係人口の創出につながる活動は誰がどう行うのか エ 公共交通…市立病院などへの移動手段確保のための実証実験、売布山手地域

	の路線バスのＡＩオンデマンド実証実験は (3) 健康・福祉について ア 地域包括支援センターの専門職人員配置の強化とは (4) 子ども・教育について ア 「あのね」…利用状況は イ 子どもや子育て世帯を温かく見守る機運の醸成…市民・事業者・団体と連携した取組とは ウ 待機児童対策…放課後児童クラブ新設の具体策、待機児童の現状と解消策（特に１年生）は。また、支援員の人材確保策は エ 保育士確保のための支援事業は オ いじめ・不登校対策…スクールロイヤーの活動実績、これまでのスクールソーシャルワーカーの成果をどう評価するか、不登校支援員拡充による効果をどう期待するか カ 宝塚自然の家…キャンプ体験の具体案は (5) 環境について ア 県有林の木質バイオマス資源活用は イ 合併処理浄化槽新規設置補助金…拡充策の目的は (6) 観光・産業・文化について ア 市内労働実態の把握、就職希望者支援…どのように把握し、支援するのか イ 北部地域の農業振興…地域計画の策定により、農地の集積・集約は進んでいるのか （ともに生きる市民の会 大島 淡紅子 議員）
6	1 市民の「いのちとくらし」を守るために (1) 今こそ非核平和都市宣言を生かした平和施策の推進を ア 憲法９条を生かした平和のメッセージを イ ウクライナの平和を願うとともに、イスラエルによるガザ攻撃、米英によるイエメン攻撃中止を求めるべきでは ウ 全国知事会が求める日米地位協定の抜本改定について、本市の見解は エ 日本非核宣言自治体協議会設立４０周年記念平和特別講演会について (2) 労働者の立場に立った働き方のルールを ア 長時間労働が発生する原因と改善策は イ ハラスメント根絶に向けた市の取組は ウ 公契約条例の進捗は (3) 医療体制の強化を

- ア 公立病院としての市立病院の使命は
- イ 特定健診受診率向上のため、市と市内医療機関の役割は
- (4) 高齢者も現役世代も安心できる公的介護制度を
 - ア 特別養護老人ホーム待機者をゼロに
 - イ 認知症に対する切れ目ない治療と支援を
- (5) 性の多様性を認め合い、誰もが「個人の尊厳」を尊重される社会を
 - ア 公的書類における不必要な性別欄撤廃の進捗は
 - イ パートナースHIPの宣誓を行っていない「事実上婚姻関係と同様の事情にある者」への対応は
 - ウ 「誰でもトイレ」の設置、社内研修など適切なL G B T Q対策の呼びかけを
- (6) 子育て・子どもにやさしい社会を
 - ア 4月からの認可保育所待機、放課後児童クラブ待機にどう向き合うのか
 - イ 本市における指定保育所の現状は
- (7) 住民本位の安全・都市基盤整備を
 - ア 避難所における衛生環境対策として必要と考えられるものは
 - イ それぞれの施策が相乗効果を発揮する北部振興を
 - ウ バス路線改編における実証実験のスケジュールは
- (8) 中小企業支援を強め、地域を元気に
 - ア インボイス制度による影響は
 - イ 住宅及び商店リフォーム助成制度、空き店舗対策の現状と課題は
- (9) 個人の尊厳を尊重する教育を
 - ア スクール・サポート・スタッフ増員による配置体制と教員多忙化解消の効果及び多忙化解消に向けた今後の取組は
 - イ 部活動地域移行の現状と課題は
 - ウ 返済中の貸与奨学金の負担軽減を

(日本共産党宝塚市会議員団 田中 こう 議員)